

令和4年7月4日
横浜創英 高等学校
副校長 本間 朋弘

本校の高大連携について

本校では、高校を社会で活躍する準備の場に変えていく、社会で必要な経験を高校が提供していく、それを基本的な考え方に、社会とつながることを目標としたカリキュラムを構築してきました。近い将来、今ある企業の多くは形を変えていくでしょう。人口の豊かな時代であれば、儲けている企業の真似をしていれば良かった。でも、今の時代は真似事ではなく、人が誰もやっていないことを考え、実行していく力がないと、社会を生き抜くことはできません。

日本の中等教育で連綿と続いてきた広く浅くのリベラルアーツから脱却して、自分の強みや尖がりを高校時代から意識をさせる環境を作っていきたいと考えています。そのためには、高校時代から社会とつながる経験を積ませる必要があり、高大連携はそのための重要な柱であるととらえています。

新しい教育課程では高校3年生の午後に自由選択の時間帯としましたので、現在の高校1年生が3年生になった際、通年で大学の講義を受け、それを高校の単位として認定するシステムを作る予定です。今年度5月までに、麻布大学生命・環境科学部、清泉女子大学地球市民学科、城西大学、城西国際大学、産業能率大学と高大連携協定を締結しました。現在、法政大学、東京都市大学、デジタルハリウッド大学と高大連携に向けた調整をしているところです。

今年度からの2年間は、大学が開催する長期休業中の集中講座を公開し、本校の多くの生徒が講座に参加することで、大学や社会とつながってほしいと考えています。

また、民間の教育機関の講座もお知らせしますので、積極的に参加してください。